

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
福祉専門課程	社会福祉学科	夜・通信	9 単位	9 単位	
	介護福祉学科	夜・通信	6 単位	6 単位	
	こども福祉学科 幼児教育コース	夜・通信	6 単位	6 単位	
	こども福祉学科 保育士コース	夜・通信	6 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務員に申し出のうえ、事務室に保管している「実務経験のある教員等による授業科目一覧」を閲覧

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務員に申し出のうえ、事務室に保管している理事（役員）名簿を閲覧

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立学校元教員	平成30年7月7日～ 令和4年7月6日	「人事」「労務」「法務」「財務」の決定、執行
(備考) 2020年4月1日までに複数の学外者である理事の選任を確実に実施致します。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)については次年度の教科担当者が1～2月頃に所定の書式にて作成、提出をしている。</p> <p>提出された授業計画(シラバス)は各学科で取りまとめの上、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布、公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	事務室に保管している授業計画書類を閲覧
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に行う。出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合には単位認定しない。</p> <p>成績評価は100点満点とし、80点以上A、70点以上B、60点以上C、59点以下Dとし、D評価を不合格としている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標として、以下のような方法を行い設定している。 成績評価は、100点を満点とし、履修科目の評価の合計及び平均点により順位を算出している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務室に保管している客観的な指標の算出方法を閲覧</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生一人ひとりがエキパートとしての専門技術や知識の修得はもちろん、レベルの高い実践教育により福祉に携わる上で必要な「優しさ」と「思いやり」のある豊かな心を持った人になっていること及び下記の卒業認定条件をクリアした者を卒業と認定する。</p> <p>卒業認定条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 ③ 校長、学科長、専任教員により行われる卒業判定会議において、卒業可と判定された者 <p>卒業認定条件については、入学時に行う新入生オリエンテーションにおいて、学生便覧等を用いて、学生に十分理解させ、周知徹底している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務室に保管している卒業の認定に関する方針を閲覧</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高知福祉専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務員に申し出のうえ、事務室に保管している貸借対照表を閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務員に申し出のうえ、事務室に保管している収支計算書を閲覧
財産目録	事務員に申し出のうえ、事務室に保管している財産目録を閲覧
事業報告書	事務員に申し出のうえ、事務室に保管している事業報告書を閲覧
監事による監査報告（書）	事務員に申し出のうえ、事務室に保管している監事による監査報告を閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		福祉専門課程	社会福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	123 単位時間/単位	84単 位	63単 位	15単 位	0単位	0単位
			162単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		40人	0人	8人	37人	45人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。 週間授業日は原則として月曜日から金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 授業計画（シラバス）については次年度の教科担当者が1～2月頃に作成、提出し、取りまとめの上、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布、公表している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合は単位認定しない。</p> <p>成績評価は100点満点とし、80点以上A、70点以上B、60点以上C 59点以下Dとし、D評価を不合格としている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 ③ 校長、学科長、専任教員により行われる卒業判定会議において、卒業可と判定された者
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>クラス担任制を取り入れ、学生との定期的な面談・指導の実施。時には保護者を交えた面談を実施。成績に応じた補講、個別指導の実施等。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 児童福祉施設、障害者(児)施設、ソーシャルワーカー、保育所、幼稚園、社会福祉協議会			
(就職指導内容) 履歴書添削、個別面接練習、就職ガイダンス			
(主な学修成果（資格・検定等）) 社会福祉士（受験基礎資格）、保育士、幼稚園教諭2種免許、社会福祉主事任用資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	4人	8%
(中途退学の主な理由) 経済的、身体的、学力的問題等。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、習熟度状況等を確認し、面談を実施し、学生の状況を教員が把握する。 退学希望者より退学理由、原因等のヒアリングを行い、退学しなくてもよい方法はないか話し合う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	96 単位時間/単位	68単 位	23単 位	10単 位	0単位	0単位
			101単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		18人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。 週間授業日は原則として月曜日から金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 授業計画(シラバス)については次年度の教科担当者が1～2月頃に作成、 提出し、取りまとめの上、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布、 公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の 学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合は単位認定しない。 成績評価は100点満点とし、80点以上A、70点以上B、60点以上C 59点以下Dとし、D評価を不合格としている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定条件 ① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 ③ 校長、学科長、専任教員により行われる卒業判定会議において、卒業 可と判定された者
学修支援等
(概要) 概要) クラス担任制を取り入れ、学生との定期的な面談・指導の実施。時には保護者を交えた面談を実施。成績に応じた補講、個別指導の実施等。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	22人 (96%)	1人 (4%)
(主な就職、業界等) 高齢者福祉施設、身体障害者(児)施設、介護療養型医療施設(病院)、社会福祉協議会			
(就職指導内容) 履歴書添削、個別面接練習、就職ガイダンス			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士(受験資格)、レクリエーションインストラクター、全国手話検定、ケア・コミュニケーション検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	2人	3%
(中途退学の主な理由) 経済的、身体的、学力的問題等。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、習熟度状況等を確認し、面談を実施し、学生の状況を教員が把握する。 退学希望者より退学理由、原因等のヒアリングを行い、退学しなくてもよい方法はないか話し合う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		福祉専門課程	こども福祉学科 幼児教育コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	87 単位時間/単位	40単 位	48単 位	16単 位	0単位	0単位
			104単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
こども福祉学科 総定員数100人 の内数		24人	0人	8人	28人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。 週間授業日は原則として月曜日から金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 授業計画(シラバス)については次年度の教科担当者が1～2月頃に作成、 提出し、取りまとめの上、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布、 公表している。
成績評価の基準・方法 （概要） 成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の 学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合は単位認定しない。 成績評価は100点満点とし、80点以上A、70点以上B、60点以上C 59点以下Dとし、D評価を不合格としている。
卒業・進級の認定基準 （概要） 卒業認定条件 ① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 ③ 校長、学科長、専任教員により行われる卒業判定会議において、卒業 可と判定された者
学修支援等 （概要） クラス担任制を取り入れ、学生との定期的な面談・指導の実施。時には保 護者を交えた面談を実施。成績に応じた補講、個別指導の実施等。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育所、児童福祉施設、幼稚園、認定こども園、社会福祉協議会			
(就職指導内容) 履歴書添削、個別面接練習、就職ガイダンス			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士・幼稚園教諭2種免許、社会福祉主事任用資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	2人	7%
(中途退学の主な理由) 経済的、身体的、学力的問題等。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、習熟度状況等を確認し、面談を実施し、学生の状況を教員が把握する。 退学希望者より退学理由、原因等のヒアリングを行い、退学しなくてもよい方法はないか話し合う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		福祉専門課程	こども福祉学科 保育士コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	91 単位時間/単位	40単 位	48単 位	12単 位	0単位	0単位
			100単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
こども福祉学科 総定員数100人 の内数		40人	0人	8人	30人	38人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。 週間授業日は原則として月曜日から金曜日とし土曜日は家庭学習とする。 授業計画(シラバス)については次年度の教科担当者が1～2月頃に作成、 提出し、取りまとめの上、年度当初のオリエンテーション時に学生に配布、 公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の 学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に行う。 出席日数が講義・演習は2/3、実習は4/5以下の場合は単位認定しない。 成績評価は100点満点とし、80点以上A、70点以上B、60点以上C 59点以下Dとし、D評価を不合格としている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定条件 ① 卒業に必要な単位数を取得した者 ② 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 ③ 校長、学科長、専任教員により行われる卒業判定会議において、卒業 可と判定された者
学修支援等
(概要) クラス担任制を取り入れ、学生との定期的な面談・指導の実施。時には保 護者を交えた面談を実施。成績に応じた補講、個別指導の実施等。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育所、児童福祉施設、認定こども園、社会福祉協議会			
(就職指導内容) 履歴書添削、個別面接練習、就職ガイダンス			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士、レクリエーションインストラクター			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	3人	7%
(中途退学の主な理由) 経済的、身体的、学力的問題等。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、習熟度状況等を確認し、面談を実施し、学生の状況を教員が把握する。 退学希望者より退学理由、原因等のヒアリングを行い、退学しなくてもよい方法はないか話し合う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
社会福祉学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	施設費等 18 万円、教育器材整備費 10 万円、実験実習費 5 万円
介護福祉学科	200,000 円	700,000 円	380,000 円	施設費等 18 万円、教育器材整備費 10 万円、実験実習費 10 万円
こども福祉学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	施設費等 18 万円、教育器材整備費 10 万円、実験実習費 5 万円
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己評価結果表を事務室にて保管。希望があれば閲覧できる。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 現在、実施はしていないが、本年度中に実施できるよう準備を行っている。 ・自己評価の結果をもとに教育課程、学生指導、学校評価等について意見交換を行う。 ・開催は原則年 1 回とし、反省及び次年度に向けた学校運営の改善を図る。 ・学校関係者評価の委員は、原則として資格関係団体、高等学校、在校生保護者、卒業生からなる 5 名以上とする。 ・学校関係者評価の委員は校長が選任する。		
学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020 年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室にて保管。2020 年度より希望があれば確実に閲覧させる。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.kochifukushi.ac.jp>